

但馬地域鉄道利便性向上対策アクションプログラム(概要版)

1. 目的

兵庫県内のJR山陰本線・播但線の利用者数は、1990年(平成2年)頃から減少しており、普通列車および特急列車の減便・急行の廃止など運行形態も利用実態に応じて変化していきましました。これらの状況や、社会情勢の変化を踏まえ、地域の基幹交通である鉄道の利便性向上、利用者数増加の取組を一層強化し、地域の持続的な発展に寄与することを目的として、地域及び地元自治体の取組み内容をとりまとめました。

■ 計画地域及び計画区間

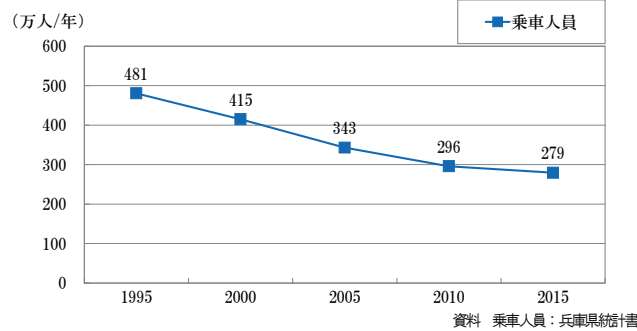
計画地域：豊岡市、養父市、朝来市、香美町、新温泉町、神河町
 計画区間：JR山陰本線(梁瀬駅～居組駅間)、JR播但線(寺前駅～和田山駅間)

2. 地域の現状と課題

1. 鉄道利用者の減少

鉄道利用者の減少傾向が続いています。

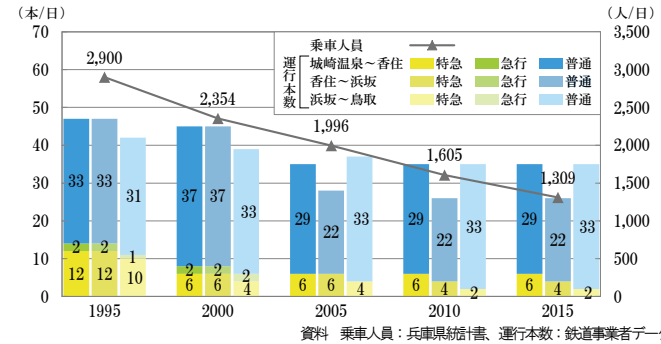
＜山陰本線(梁瀬～居組間)及び播但線(寺前～竹田間)の乗車人員の推移＞



2. 輸送サービスの低下

鉄道利用者の減少に伴い、輸送サービスが低下しています。

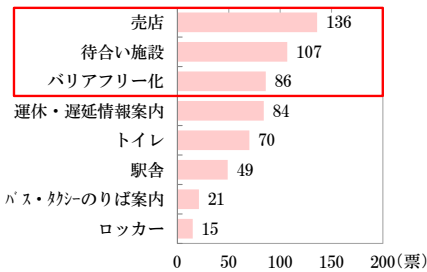
＜竹野～居組間の乗車人員並びに城崎温泉～鳥取間の運行本数の推移＞



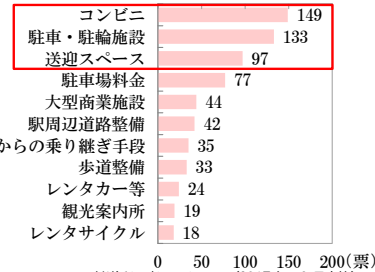
3. 整備が望まれる駅及び駅周辺施設

駅での売店、待合施設、バリアフリー化、駅周辺でのコンビニ、駐車・駐輪施設、送迎スペースの整備を望む意見が多くなっています。

＜鉄道利用者及び住民が駅に望む施設＞



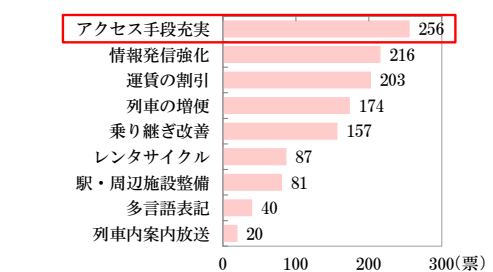
＜鉄道利用者及び住民が駅周辺に望む施設＞



4. 駅からの交通手段が不便

観光客は、駅からのアクセス手段の充実を望んでいます。

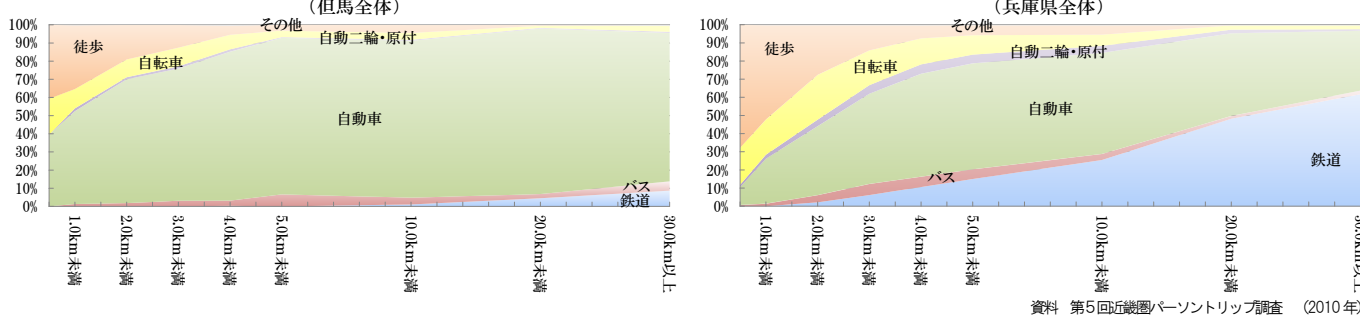
＜鉄道を利用した観光地周遊を促進するため、特に効果的だと思う取組＞



5. 他地域よりも低い鉄道の利用割合

兵庫県全体と比較して、どの距離帯においても、自動車の利用割合が非常に高く、鉄道の利用割合が低くなっています。

＜距離別別交通手段別利用割合＞



3. 基本理念と目標数値

■ 基本理念

みんなで作ろう 魅力ある山陰本線・播但線

■ 年間乗車人員の短期的目標

279万人(2015年度) → 300万人(2022年度)

4. 利用促進施策

利便性向上、利用者数増加を実現するため、地域および地元自治体が連携し、4つのプログラムに取り組みます。

■ 「輸送サービスの向上」プログラム

特急列車の増便・延伸、普通列車の高速化・増便を実現させ、輸送サービスの向上が利用者増加につながる好循環を生み出すため、自治体と事業者が連携して協議を進めます。

＜協議を進める内容＞

- ・特急「はまかぜ」全便鳥取駅発着・増便
- ・普通列車新型車両導入
- ・まつかぜ、おき等の豊岡駅への延伸
- ・普通列車の増便社会実験

■ 「交流人口の拡大」プログラム

各自治体の地域創生の取組と連携し、交流人口を拡大する取組みを展開します。

＜継続＞

- ・天空バスの運行
- ・たじまわりの運行(鉄道利用の観光モデルルート作成)
- ・レンタサイクル補助事業

＜新規＞

- ・余部鉄橋「空の駅」を軸とした観光拠点再整備
- ・米子駅～城崎温泉駅間の特別列車運行
- ・イベント時のシャトルバス運行助成

■ 「駅及び駅周辺環境の改善」プログラム

駐車場や駐輪場の整備など、駅へのアクセスを向上させるほか、駅トイレの整備等により駅の快適性に取り組み、機能向上に努めます。

＜継続＞

- ・浜坂駅港湾線街路事業(浜坂港～浜坂駅前の道路整備)

＜新規＞

- ・浜坂駅周辺整備
- ・香住駅前広場整備
- ・長谷駅トイレ整備

■ 「利用者意識の醸成」プログラム

公共交通情報の発信や住民に鉄道を身近に感じてもらうイベント事業によって、公共交通を利用する意識を醸成する取組みを展開します。

＜継続＞

- ・デジタルサインによる情報発信(城崎温泉駅)
- ・豊岡車両基地見学会(豊岡駅)
- ・鉄道情報を発信するwebサイトの運営(但馬の鉄道：<http://www.tajimarailway.com>)

＜新規＞

- ・八鹿駅跨線橋の歴史的価値PRパネル設置
- ・高校生による八鹿駅前ロータリー花壇の整備
- ・公共交通活性化のためのふるさと納税導入